

11/15  
2016年第1251号  
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代)

定価・年間10,000円 月1,000円  
1977年5月23日第三種郵便物認可

### か強診

# 白紙に戻し、再構築を

## 吉田副理事長ら訴え

### 保団連 全国歯科交流集会

かかりつけ歯科機能強化型歯科診療所(か強診)の評価・対応の検討や、補綴を守り歯科技工技術料の引き上げのため、保団連全国歯科交流集会が10月30日、エステック情報センター(東京)で開かれ、全国42協会から162人が参加した。大阪府歯科保険医協会からは、小澤力理事長、戸井逸美・吉田裕志各副理事長、寺嶋洋幸・兵頭正道・杉本敬各理事、玉川明弘社保研究部員のほか、事務局3人が参加した。(関連記事3面)

基調報告では、馬場淳保団連副会長から国民を取り巻く社会や経済、国民生活の状況や、政府の考える社会保障の改善の方向などが話され、主な交流の柱として、か強診への評価・対応と歯科技工問題の2点が提起された。

「か強診」への対応では、大阪から吉田副理事長が発言に立ち、①患者の立場に立っていない一物二価②医療機関の分断と差別化招き、地域医療の提供を困難にする③この観点から「か強診」は、手直しでは無く、白紙に戻して抜本的に改変し、再構築が必要」と訴え



「か強診」の評価・対応や、歯科技工技術料の引き上げ等について活発な議論が行われた＝10月30日、東京

紙に戻して抜本的に改変し、再構築が必要」と訴え「本来であれば地域で活躍する歯科医療機関の力を引き出すため、どんな診療所でも訪問歯科診療に取り組みるようにしなければならぬ。その意味でか強診は、阻害要因ではない」と強調した。

## 府は福祉医療改悪撤廃を

大阪府の福祉医療費助成の改悪計画を止めるため、協会は請願署名に取り組んでいる。小澤力理事長が協力を呼びかけている。

### 署名呼びかけ

子どもや障がい者などの経済的負担を軽減する福祉医療費助成制度で、大阪府が患者負担の引き上げを検討しています。現行では、1回の通院につき1000円以内の患者負担(上限500円)が必要になり、1回



の通院における負担が、最大2倍になります。また、月額上限も引き上げられ、1医療機関あたり1000円の上限は撤廃されます。毎回の受診で500円の支払いが必要

となり、新たに定められる月額上限を超えた分は、申請しなければ払い戻されません。さらに、対象範囲も見直され、これまでの助成対象だった65歳以上で精神1級以外の精神通院患者・障がい年金1級以外の難病患者などが対象から外されます。これでは受診が必要な人ほど負担が何倍にも増

## 保険で良い歯科医療を実現

### 全国連絡会 第14回総会開く



大阪連絡会の活動を報告する戸井副理事長＝10月29日、東京

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会第14回総会が10月29日に東京で開催され、7都府県連絡会ほか39人が出席した。大阪連絡会からは、小澤力理事長、戸井逸美副理事長と事務局が出席した。代表世話人の雨松真希人氏(歯科技工士)は、前回総会以降の活動と今

後の活動方針について報告し、保険で良い歯科医療の請願署名を約30万筆集めたこと、来年度2月頃から新たに同署名に取り組み50万筆の目標を掲げた。複数の連絡会結成を目指し、活発な連絡会活動を展開してい

会内の意見をまとめ、さらなる運動に踏み出す必要性を訴えた。このほか、保険で良い歯科医療の取り組みや審査指導の改善運動について交流した。集会の最後に①国民が安心して歯科医療を受けられるよう、患者の窓口負担の大幅引き下げ②歯科保険の適用範囲の拡大③技工士が適正な技術料を受け取れるような制度保障の確立④衛生士の評価を抜本的に引き上げることを求める決議が賛成多数で採択された。

### クイズチラシを今号同封



今号にクイズチラシ10枚を封入する。追加が必要な場合は、協会事務局(06-6568-7731)まで。

えることになり、受診抑制に繋がりがありません。今回の見直しは、大阪府の低迷や国による患者負担の引き上げに苦しむ府民にさらに追い打ちをかけるものです。その上、府下の全自治体が上

署名を今号同封

大阪府の医療費助成の見直しで負担が増える!?

乗せ助成を実施している子ども医療費助成制度に大きな影響を与え、自治体独自の助成制度が後退する恐れがあります。また、対象者に多大な影響を与えるにも関わらず、

されていることは大きな問題です。福祉医療費助成制度を抜本的に拡充し、生活が苦しい府民を守る防波堤の役割が今こそ大阪府に求められています。協会は、福祉医療利用者に対する大幅な窓口負担増を止めるため、請願署名に取り組んでいます。会員一人ひとりの声を結集し、大阪府に計画の撤廃を迫ります。署名へのご協力をよろしくお願ひ致します。

うと提案した。大阪連絡会から、戸井副理事長が「一年2回の市民講座は毎回好評で、その内容をパンフにおさめたものは通算6万部超を発行した。今後も歯科医が市民の健康の発信地となるよう活動を進めていきたい」と報告した。全国連絡会は、来年6月と10月頃の2回にわたって大規模な集会をもつことを確認し、代表世話人に雨松真希人氏を選出した。

選挙が人気投票化し、有権者の個人的業界のエゴが国政にまで影響を及ぼしている。アメリカ大統領選挙は個人誹謗ばかりの下品さで、マスコミの餌食になった。目くそ鼻くそで白けきった心算に隠れてしまっているが、アメリカ国民の不満に迎合する政策論には重大な危険性が潜んでいる。「強いアメリカの誇りを奪還しよう。アメリカを舐む外国人を排除しよう」という主張はその言辞の一言一句までがヒトラーの演説や「わが闘争」の記述にそっくりである。

ナチは壊滅したが、大惨事の火種となった不満とポピュリズムは地球上至るところで健在だ。ホロコーストと原爆に代表される人類史上最大の悲劇はアメリカやドイツだけにどまらず、痛撃を体験しなかった他の大国にも飛び火している。日本と一緒には平和と差別別を歌わねばならぬイスラエルもドイツにリベンジするのではなく、お門違いのパレスチナを苛めている。

おことわり  
基軸・財政政策と社会保障の行方⑦(鶴田廣巳氏)は、11月25日付に掲載します。